

(平成29年度) 第2回運営推進会議実施報告書

平成30年2月8日

事業所名	大田区立田園調布高齢者在宅サービスセンター	サービスの種類	認知症対応型通所介護
電話番号	03 (3722) 9700		
開催日時	平成30年2月7日(水) 13:30~15:00		
開催場所	大田区田園調布5-45-10 大田区立田園調布高齢者在宅サービスセンター 3階 クラブ室		
出席者 5人	(内訳)		
	利用者なし		
	利用者家族 2名		
	地域の代表 民生委員1名		
	区・地域包括支援センター 1名		
その他			
事業所職員 1名			
◆活動報告・活動計画			
別紙のとおり。			
◆活動報告・計画に対する評価			
<p>【家族】帰ってきて「今日は何したの」と聞いても「何もしていない」と言う。連絡帳に何をしたら記入してあるので、何をしたらわかるし、こちらも愚痴を書いてストレスが多少発散できている。写真を見て、昔こんな表情をしていたなど感じるものがあった。家では笑わない。いろいろなことをさせてもらって楽しんでいるだろうし、家で同じことをしようとしてもやらないと思う。</p> <p>【家族】家とは違う表情が沢山ありました。</p> <p>【民生委員】写真の表情が良く楽しいのだろうなと感じました。</p> <p>【地域包括支援センター】</p> <p>イベントに地域の方がいらしたり、車椅子の無料貸出しをしたり地域の方に貢献できることを始めていることは、今法人に求められていることで良い取組みをされていると思います。</p>			
◆事業所に対する要望・意見			
<p>【民生委員】先日の雪の日にデイサービスに行きたかったけれど、電話が来てお休みになった、と言っている人がいたけれどどうだったのですか。</p> <p>【家族】爪切りや他にお願いしたいことがあった時には連絡帳に書けばやってもらえますか。</p> <p>【家族】排泄介助を拒否するので介入できず、汚れたままデイサービスへ行く状態で申し訳ない。汚れた手であちこち触るから、部屋も汚れていて毎回掃除が大変。</p> <p>【家族】長距離の歩行は体力的に難しくなってきたので、車椅子を借りた方がいいのでしょうか。以前は車椅子には「歩けるから」と言って頑として乗らなかったが、最近は嫌がらなくなったので。</p>			
◆要望・意見に対する事業所からの回答			
<p>・雪の次の日(1月23日火曜日)は、雪が20センチも積もり坂道や細い道は通行が難しく、自力(家族の送迎)で通所出来る方、送迎が何とか可能な範囲である方のみを受け入れることにしました。利用者一人ひとりに電話をかけて、状況を伝え(結果)お休みしていただく方が多くなりました。</p> <p>・連絡帳に記入していただいてもいいですし、電話で相談いただいても良いです。ケアマネジャーに相談して、出来ることについては対応させていただきます。</p> <p>・排泄については、家族以外の方が介入しやすいことがあるので、デイへ行く前に30分ヘルパーを頼んでいる人もいます。検討されてはどうでしょうか。</p> <p>・デイサービスで車椅子の無料貸出しをしているので、頻繁に使わないのであれば単位数を使う必要もないので必要な時に言っていただければ、お届けします。旅行に行くときなど、利用されている方がいます。</p>			

◆地域・行政等からの情報提供

【地域包括支援センター】介護者が集えるサロンや見守りキーホルダーの登録申請についての情報提供があった。

◆その他・特記事項

参加された家族の介護負担が大きく、介護への労いがなく辛いという不満などを私たちが聞くことで、介護者の気持ちに共感できたり、助言することができた。事業所として、レスパイトケアを通所介護計画書に反映させることが重要だと改めて認識することが出来た。

午後のプログラムがクッキング(チョコ蒸しパン作り)だったので、作る過程を見学し、出来上がった蒸しパンの試食をしていただいた。掲示している写真や習字・ぬり絵・絵画なども見ていただいた。

買い物支援については、地域包括支援センターと検討中。

※会議録作成にあたって

・報告書は2ページにわたっても構いませんので、文字は縮小しないでください。